

## 平成 29 年度事業報告書

### I. 平成 29 年度日本バングラデシュ協会事業報告書

1. 平成 29 年度は発足後 4 年目に当たり、執行部は前年度に引き続き日バ両国 の友好親善、相互理解の増進を目標として、前年に引き続き協会の基盤整備、協会の活動の充実とともに認知度の向上に努めた。本協会はまた、進展を続けるバングラデシュおよび日本バングラデシュ関係に関する意識、情報の普及および啓発のため、平成 29 年度において 4 回の講演会、4 回の企業情報交換会を 行い、また毎月 1 回メールマガジンを発行しているが、その実績は添付資料-1 の一覧表のとおりである。
2. 本協会の会員数は、平成 29 年度末で個人会員 142 名(うち学生会員 12 名)、法人会員 32 社(うち非営利法人会員 3 社)となった。前年比でみると個人会員は 3 名増であるがこれは新規会員が 6 名あったものの、バングラデシュ関係のポストから離れたことなどの理由から退会者が 3 名あったためである。また、法人会員は 5 社の増加であった。本協会が会員にとって有意義な活動をさらに展開し、また、会員さらに潜在的会員の各種照会に対応し得るよう、事務処理能力を拡充していくためにも、財源基盤の強化が大きな課題であり、そのための個人会員、法人会員の増加が引き続き重要となっている。
3. 一昨年、法人会員増加のため、本協会会員である先行企業代表から、新たにバングラデシュに進出を検討している企業、或いは進出したばかりの企業に対し、現地で遭遇し、或いは遭遇するであろう諸問題について、関連する経験ないし情報を紹介するために設立された「企業情報交換会」は平成 29 年度 4 回の会合を行った。
  - (1) とくに昨年 12 月 13 日にジェットロ後援により、ジェットロ本部で行われた「バングラデシュとの付き合い方—成功事例、失敗事例から学ぶ」と題するセミナーでは、約 150 名の参加があった。ただ、このセミナーではバングラデシュ投資に関心を持つ企業の掘り起こしにはかなりの効果はあったと思われるものの、本協会会員の増加に結び付けるにはさらなる工夫が求められることも明らかとなった。
  - (2) 一昨年 7 月 1 日のダッカにおけるテロ事件のあと外務省の渡航者情報におけるバングラデシュに於ける危険度が 2 に引き上げられたため、一時期、日本人のバングラデシュ渡航者数はかなりの落ち込みが見られたが、バングラデシュ

政府による治安対策や日本側関係者による安全対策、自衛対策などの強化などの措置を踏まえ、バングラデシュ渡航者の数はかなりの持ち直しがみられる。本企業情報交換会においては、毎回、外務省のテロ対策室のバングラデシュ担当専門官より、治安状況についての報告が行われ、企業会員の評価を受けている。

4. 一昨年より活動を開始した月例の「事務執行定例会」は 11 回開催され、協会運営の迅速化に大いに寄与している。また、専用PCの導入や事務補助要員 1 名の関連業務の習熟に伴い、協会事務処理、関連書類のファイル整備が着実に進展している。
5. また、昨年の総会で報告した本年度活動目標の一つとして掲げた賛助会員制度導入のため、タスクフォース会議が 5 回開催され、必要な諸規則案を作成し、本総会に提出される予定である。
6. 理事会は、臨時理事会 1 回を含め 6 回開催され、協会運営にかかわる諸事項について各担当理事を定めて管掌し、理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保しつつ、その他一般社団法人の業務の適正を確保するための体制、その他一般社団法人の業務の適正を確保すべく務めた。
7. 財務的には協会の収入は 220 万円となり、他方、支出は 138 万円で、前期からの繰り越しと併せ、協会資産は 359 万円となっている。

平成 29 年度の協会行事の一覧表を添付資料-1 に示す。

# 日本 Bangladesh 協会 平成 29 年度事業一覧表

平成 30 年 3 月 31 日

## 1. 講演会事業

2017 年

- (1) 4 月 10 日 吹浦 忠正 「私の見た Bangladesh 独立戦争」  
ユーラシア 21 研究所理事長
- (2) 11 月 4 日 瀧田 項一 「57 年前の東西 Pakistan から受けた感動」  
陶芸家
- (3) 11 月 11 日 渡辺 大樹 「『エクマッタ』の渡辺大樹さんに聞く」  
エクマッタ顧問

2018 年

- (4) 3 月 1 日 佐竹右行 「ロヒンギャ難民支援と GENKI プログラム  
理事、グラミン・ユグレナ Co-CEO ～現地を訪れて～」

## 企業情報交換会：

2017 年

- (1) 6 月 21 日 第 5 回企業情報交換会 「各社が抱える近況の議題」  
会場：Bangladesh 大使館
- (2) 9 月 20 日 第 6 回企業情報交換会 「Bangladesh の現状に関する情報交換会」  
会場：神明いきいきプラザ
- (3) 12 月 13 日 第 3 回セミナー 「「Bangladesh との付き合い方」  
会場：JETRO ～成功事例・失敗事例から学ぶ～」

2018 年

- (4) 3 月 14 日 第 7 回企業情報交換会 「Bangladesh の現状に関する情報交換会」  
会場：渋谷勤労福祉会館

## 2. メール・マガジンの発行

2017 年

- 第 33 号 (4 月号) 「近隣諸国の治安状況と Bangladesh の強み」、  
「早川元枝様より本協会に 100 万円の寄付」  
「現地だより - Bangladesh との出会い」
- 第 34 号 (5 月号) 「Bangladesh からの技能実習生の来日予定」、  
「垣間見た Bangladesh の大学」  
「現地だより美を通じた Bangladesh 女性の活躍支援」
- 第 35 号 (6 月号) 「第 4 回日本 Bangladesh 協会の社員総会・懇親会の開催」、  
「早川家のベンガル虎の Bangladesh 大使館への寄贈」  
「日本ベンガルフォーラム」 『現地だより』: 丸紅株式会社 Bangladesh  
デッシュ電力工事事務所 健彦」
- 第 36 号 (7 月号) 「ベンガル地域研究の基本視座を求めて」  
「Bangladesh の逆・雁行形態的産業発展仮説」

- 第 37 号 (8 月号) 『現地だより - バングラデシュと私』: 清水建設ダッカ事務所水品恭志  
「静岡県とバングラデシュの交流」  
「タゴールソングについて」 会員: 奥田由香
- 第 38 号 (9 月号) 「現地だより」 三菱自動車工業株式会社 齊藤晋太郎  
「阿波踊り日本バングラデシュ・プロジェクトについて」  
「ハティア島のこと」 副会長: 大橋正明
- 第 39 号 (10 月号) 「現地だより」 日本工営 ダッカ事務所 田中 俊光  
「バングラデシュの I T 人材の育成と活用」  
「Diary of a Mariner」 理事: 七田 央  
「現地だより」 私たちの活動について - ユーグレナ GENKI プログラム  
理事: グラミンユーグレナ Co-CEO 佐竹右行
- 第 40 号 (11 月号) 「日本青年によるバングラデシュでの唐辛子栽培「奮闘」記」  
「国連本部でスピーチ～バングラデシュ政府代表団の一員として～」  
監事: 神山秀夫
- 第 41 号 (12 月号) 「現地だより」 バングラ現地法人、ダッカで外食 FC 事業スタート  
会員: 宍倉(株) 代表取締役 宍倉 弘哲  
「ダッカ大学陶芸学科「創始者」とのスカイプ講演会」  
「バングラデシュとゴルフ」 前監事: 廣部威紘  
「現地だより」 ロヒンギャ問題解決への私案」  
法人会員: 株式会社小島衣料オーナー 小島正憲
- 2018 年
- 第 42 号 (1 月号) 「ムジブル・ラーマン 3 月 7 日演説のユネスコ世界記憶遺産登録」  
「現地だより」 Shororitu (六季の国)、バングラデシュ」  
会員: 株式会社キャット 桑江央
- 第 43 号 (2 月号) 「東京国際ギフト・ショーへのバングラデシュ企業の初参加」  
「チッタゴンで想うこと、港～戦争墓地～加藤隼戦闘隊」 監事: 神山秀夫  
「鳴門・徳島バングラデシュ・ミッションに同行して」  
会員: 丸久株式会社 森川ゆみ
- 第 44 号 (3 月号) 「歯ブラシが我らの剣」 会員: NPO ジョロナ 代表 滝波修一  
「ダッカ国際詩人サミットでの日本人詩人の受賞」  
「エクシェ・フェブラリー」の式典に参加して」 理事: 渡辺一弘  
「第 5 回国際ベンガル学会の報告」 理事: 外川昌彦  
「私とバングラデシュ」 会員: 小林博子

### 3. 日本バングラデシュ協会平成 29 年度会議一覧表

- I 社員総会
- 1 第 4 回社員総会・懇親会 平成 29 年 6 月 3 日 品川カンファレンスセンター
- II 第 4 期 理事会
- 1 第 1 回理事会 平成 29 年 4 月 21 日 三田いきいきプラザ C 室

2	第1回臨時理事会	平成29年6月3日	品川カンファレンスセンター
3	第2回理事会	平成29年7月28日	神明いきいきプラザ A室
4	第3回理事会	平成29年10月17日	三田いきいきプラザ C室
5	第4回理事会	平成30年1月24日	渋谷勤労福祉会館第4号室
6	第2回臨時理事会	平成30年3月17日	渋谷カフェミヤマ

### III 第4期 事務執行定例会議

1	第1回事務執行定例会議	平成29年4月11日	三田いきいきプラザ
2	第3回事務執行定例会議	平成29年5月19日	虎ノ門いきいきプラザ
3	第3回事務執行定例会議	平成29年6月22日	三田いきいきプラザ
4	第4回事務執行定例会議	平成29年7月18日	三田いきいきプラザ
5	第5回事務執行定例会議	平成29年8月21日	三田いきいきプラザ
6	第6回事務執行定例会議	平成29年9月19日	三田いきいきプラザ
7	第7回事務執行定例会議	平成29年10月10日	渋谷カフェミヤマ
8	第8回事務執行定例会議	平成29年11月17日	渋谷カフェミヤマ
9	第9回事務執行定例会議	平成30年1月12日	渋谷カフェミヤマ
10	第10回事務執行定例会議	平成30年2月14日	渋谷カフェミヤマ
11	第11回事務執行定例会議	平成30年3月14日	渋谷カフェミヤマ

### IV 第4期 タスクチーム会議

1	第1回タスク会議	平成29年10月10日	渋谷カフェミヤマ
2	第2回タスク会議	平成29年10月24日	渋谷カフェミヤマ
3	第3回タスク会議	平成29年11月17日	渋谷カフェミヤマ
4	第4回タスク会議	平成29年12月7日	渋谷カフェミヤマ
5	第5回タスク会議	平成30年1月12日	渋谷カフェミヤマ